

第一新聞

発行所
第一未来館
Tel:088-655-5001

第78号



考(かん)と(ま)を(ま)つ

8月5日に徳島第一英語村がオープンし、夏期講習会期間中に各学年2日間ずつ、レッスンを受けました。私も8月12・13日の小4から中1生の様子を見てきましたが、とても楽しそうにレッスンを受けていましたね。

話は変わりますが、この第一新聞、皆さんは隅から隅まで読まれているでしょうか。おそろくそうでない人も多いでしょう。しかし、ほとんどの人が目を通すコーナーがあります。それは、裏面にある「なぞなぞのコーナー」です。なぞなぞについては学年関係なく、休憩時間中に校舎に貼ってある新聞を見て、考えている姿をよく見ます。



英語にしてもなぞなぞにしても、分からぬの考えるというところは、とても楽しいことであり、分かったときは、何とも言えない喜びを感じるものです。これは普段の勉強においても同じことが言えるはずなのですが、なぜ普段の勉強は楽しく感じられないのでしょうか。この違いは、考えられない姿勢が前向きであるかどうかです。何とか英語を聞き取り、前向きに取り組むときは、考えることが決して苦にはなりません。勉強に苦痛を感じる人は、絶対に解いてやろうという前向きな気持ちで足りな



人です。簡単な問題をやらされる勉強は苦痛を感じます。なぜなら、そこに考える楽しみがないからです。勉強は難しいからこそ楽しみがあるのです。なぞなぞを解くぐらいの気持ちで勉強に臨めば、勉強も楽しいものです。(姫野先生)

小中学部ゼミコース 四谷大塚NET通信

★徳島第一英語村がグラントオープン!

9月より徳島第一英語村がグラントオープンします。8月のソフトオープンでは、夏期講習会に参加した子供達や保護者説明会にご参加頂いた保護者の皆様、本当に多数の方々に参加頂き、誠にありがとうございます。また、私達が長い間吟味を重ねてきた英語教材が、いよいよ本格的にオープンに致しますので、子供達の未来のため、是非積極的にご参加頂きます様、宜しくお願ひ致します。

また、これからの英語教育は、多方面からアプローチをかけていかなければ、新試験制度に上手に対応できないどころか、社会の中で生き抜いていく力も身に付かない危険性があります。ですから、徳島第一ゼミでは英語試験に対する得点力、基礎英語力や他教科の学力徹底、徳島第一英語村では各種資格試験取得や社会英会話力といったように、私達は英語教育を大きくバージョンアップさせました。

前述しましたが、新時代の教育は、これからの子供達にとっては必ず必要となります。子供達が幸せな未来を掴めるよう、私達は常に最善の努力を尽くして参ります。

★日曜講座小6生中学受験対策がスタート!

9月2日(日)より、「小6生公立中高一貫校対策」と「小6生附属中・文理中受験対策」の2つに分かれて、日曜講座を朝9時から夕方17時まで実施していきます。そして9月からは2クラスに分かれて、通常の対策授業ではできなかったような集中演習やより徹底した解説を専門的に、また実践的に行っていく予定です。

冬休みまでに自分の学力をできるだけ高めておかなければ、中学受験は決して突破できません。小6生達は是非、自分の心をしっかりと伸ばして、勉強することの意義を捉えていきましょう。意義とは何か、それは中学受験にチャレンジする自分を大切にすること、そして自分を支えてくれる

ているいろんな人達の事をきちんと考えるということ。夏期講習会の時以上に自分の心に余裕がなくなっていく。そういう時こそ、自分を高めるために楽しく、まじめに勉強をしていくことが一番です。頑張ってください!

★中3基礎力アップ講座がスタート!

9月1日(土)より中3生を対象とした基礎力アップ講座がスタートします。授業科目は英語と数学です。中3生の皆さんは、これから基礎学力テストが第1回から第3回まで、計3回あります。このテストだけでなく各学校で実施されている実力テストも影響しますが、これらのテストをどのようにして突破していくかが、高校受験に挑んでいくにあたり、最優先事項なのです。そこで、特に英語と数学の基礎学力を何としても上げたい中3生を対象に、この講座を開講することにしました!英語と数学はどのような進学先であっても必要となる科目です。是非参加しましょう!

★四谷部では9月初めにテストがあります!

小4生では9月1日(土)に、小5・6生では2日(日)に公開組分けテストがあります。夏期講習会を含め、今まで勉強してきた自分の努力が改めて試されるものとなるので、四谷生はしっかりと頑張っていくようにしましょう!

また小4生については、授業時間の都合上、どうしてもきちんとしていたテスト補習の時間を減らすことができません。小5生になるまでは、自分でできるだけ直しが、どうしてもわからない問題があれば、私達に何でも相談して下さい。待っていますよ。

★最近私が気になること

ゼミ中学部で実施している単元別レベルアップテストの受講生数が、特に中2生で受講生が減少してきています。どういうことでしょうか?自分自身の学習面の充実化を図る為、そして、受験突破力を身に付ける為のテストなのですが、中2生の皆さんはどのように考えているのでしょうか?部活が忙しい、他の習い事や都合が合わない、成績が出るから嫌だ等、色々理由はありますが、私達も考えたい!

成績が出るから何なのですか?部活や他の習い事が忙しいのであれば、別の時間を作ればよいではないですか?成績が悪ければ、その都度きちんと単元ごとに復習し、次に少しでも活かしていくことが出来ればよい

ではないですか。中学生の皆さんは一人一人がそれぞれ色々な立場にいます。勉強一本で考えている子、得意な英語でやっていこうとしている子、特色選抜や推薦で自分の能力を活かしている子と考えている子等、色々な状況があることは、充分私達は理解しています。でも、勉強は皆さんにとつて、一番疎かにしてはいけないことなのです。

例えば英語、英語能力がいかにか高くとも、他教科の知識がなければ表現力やプレゼン能力等に関して、全く重みのないものになります。また、特色選抜や推薦については、進学校の子供達は、基本的には少なくとも高校生時代はその能力を活かしていかなくてはなりません。ただ、何かの拍子でその能力が活かせなくなったり、勇気が必要であったり、今の時点でどんどん自分自身に対する人生のリスクを高めているということも言えます。



たが、何事にも前向きに勉強して下さい。絶対に皆さんが大人になる頃には、もっと勉強してきたことが重要になります。自分の人生を、親から頂いた人生をもっとまじめに考えて下さい。それが私達の願いです。(工藤先生)

ハイフリッド通信

夏休みを振り返って、休み前に目標としていた課題は終えることができましたか?問題集・演習が十分に進める事が出来たでしょうか?まさかとは思いますが、学校の課題を夏休み終了目前にして急いでやっただけという事はないですか?始業式前後に文化祭のイベントがある生徒もいましたが、きちんと勉強時間は確保できたでしょうか?中2生は中1生と比べて、差が掛かっています。徐々に高校部へ移行してきます。高校で習う理系科目は量も中学生とは比べることが出来ないくらい多く、また濃い内容を勉強していきます。90分の授業内容を学習したら、最低でも2〜3倍程度の演習は必要になってきます。受験本番を迎えるにあたって、十分な時間を確保する為にも、進める事が

出来る内容・科目はほとんど勉強していかねばなりません。人それぞれスピードも違い習熟度も異なるので、周りの子達と比べると目標は達成できるのか考えて、それに伴う行動をしていきましょう。

中1生は学校生活のペースをなんとなくつかめてきたと思います。2学期以降、内容は濃くなっていくので、予習・復習を丁寧に進めてください。復習といってもその日に習ったことを確認することだけやれば良いということではなく、学習内容は日々増えていくものももちろん復習も徐々に増えていくことになっていきます。だからこそ小学生の頃のように先生の書いたことのみをノートに写すのではなく、間違えやすいポイントなどを授業ノートにメモしておくなど自分流のノート作りもしていかねばなりません。実際、中1生の中にも、間違えやすいポイントや考え方を自分流にメモしている生徒もいます。今後、色々な方法を試しながら、自分流のノート作り、勉強法を作り上げていって下さい。

最後に1つ皆さんに再確認です。これまでハイフリッドコースのみんなは4F奥の教室で学習していましたが、5F奥の教室で学習することになりました。授業日以外で自習に来た場合は、これまで通り3F受付で座席を選んで3・4Fのブース席で学習するようにして下さい。

- ① 今後の模試実施予定、
- ② 第2回聯合学力テスト 8月31日(金) 実施済
- ③ 全国統一中学生テスト 11月4日(日)
- ④ 第3回聯合学力テスト 11月25日(日) 11月30日(金) ※予定
- ⑤ 第4回聯合学力テスト 1月22日(火) 1月27日(日) ※予定

(伊勢先生)

雑学知識にチャレンジ!

- (1) ジグソーパズルは何のために作られた?
- (2) ジャイアントパンダの1日の食費は?
- (3) たくあんとホットミルクで何味になる?
- (4) コンビニ「7ELEVEN」は最後の「N」だけ、なぜ小文字なの?
- (5) 魔法ビンの中はなぜ鏡?

前号の解答

- (1) 魚介類は1年後、野菜や果物は半年後
- (2) プロウ(生食用は全体の2割、のこり8割はワインをつくるため)(3)当初50mと設定されていたが、まわりの建物の高層化のため最大で100mほどに設定された (4)すべて129.3cm (5)豆腐発祥の中国ではぶよぶよして柔らかいものに「腐」という字をあてるため

英検講座のススメ

近頃は英語4技能が必須です!と言われています。ちょうど、先月も東進主催の教育セミナーにて4技能の大切さ、これからの大学入試についての説明がありました。

徳島第一英語村もオープンし、英語にますますの関心が集まっています。いま英語4技能が、とても熱い!ということは間違いありません。そこで英検も受験する人が年々増えています。小学低学年から中高生まで、こぞって英検にチャレンジしている人は、みなさんの中にもいるでしょう。そんなみなさんのために、第一こべつでは英検対策講座も開講しています。40分コースと80分コースを設け、それぞれのレベルに合わせて指導をしています。最近では、3級以上では英作文もかなりレベルの高いものが要求されており、語彙や文法をしつかり身につけて、さらにそれらを使いこなす力が必要となってきています。そのため、の語彙・文法習得や英作文添削も英検対策講座では行っています。次回の英検は10月です。この講座は数か月間、集中的に取ることも可能なので、興味のある人はぜひ、教師に声をかけてください。(野上先生)

第一こべつ

【今月の一冊】『おいしい数学―証明の味はパイの味―』ジム・ヘンリー著・水原文訳(岩波書店) 料理と数学、と聞くと、まったく結びつかないような気もするけれど、実は似ている点があり、それをユーマアタッパりの分かりやすい文章とイラストで知ることが出来る著書。料理や数学は苦手!と思っている人にもぜひ。

